

泉南市民人権意識調査

報告書

概要版

平成19年3月
泉南市

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、市民の人権問題に関する意識等を把握し、今後の人権行政を推進していくうえでの基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査設計

- (1) 調査地域：泉南市全域
- (2) 調査対象および調査対象数：泉南市内に居住している満16歳以上の男女3,000人
- (3) 調査方法：郵送配布、郵送回収
※調査期間中に、はがきによる督促状を1回送付
- (4) 調査期間：平成18年11月28日（火）～平成18年12月15日（金）

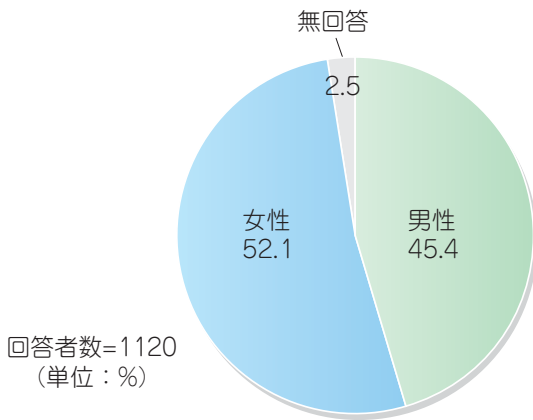
3 回収結果

発送数	回収数		有効回答数	有効回答率
		うち無効票		
3,000	1,139	19	1,120	37.3%

II 調査結果

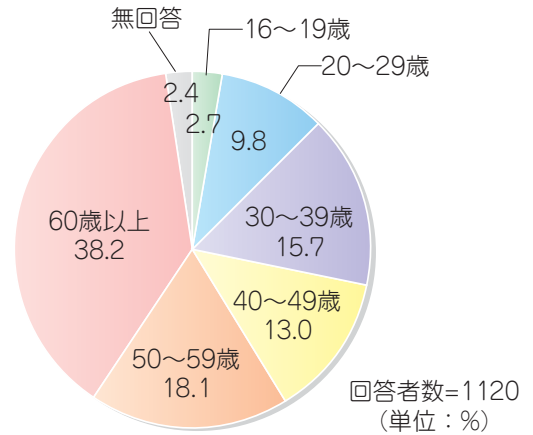
1 回答者の属性

(1) 性別



回答者の性別は、「女性」が52.1%、「男性」が45.4%となっています。

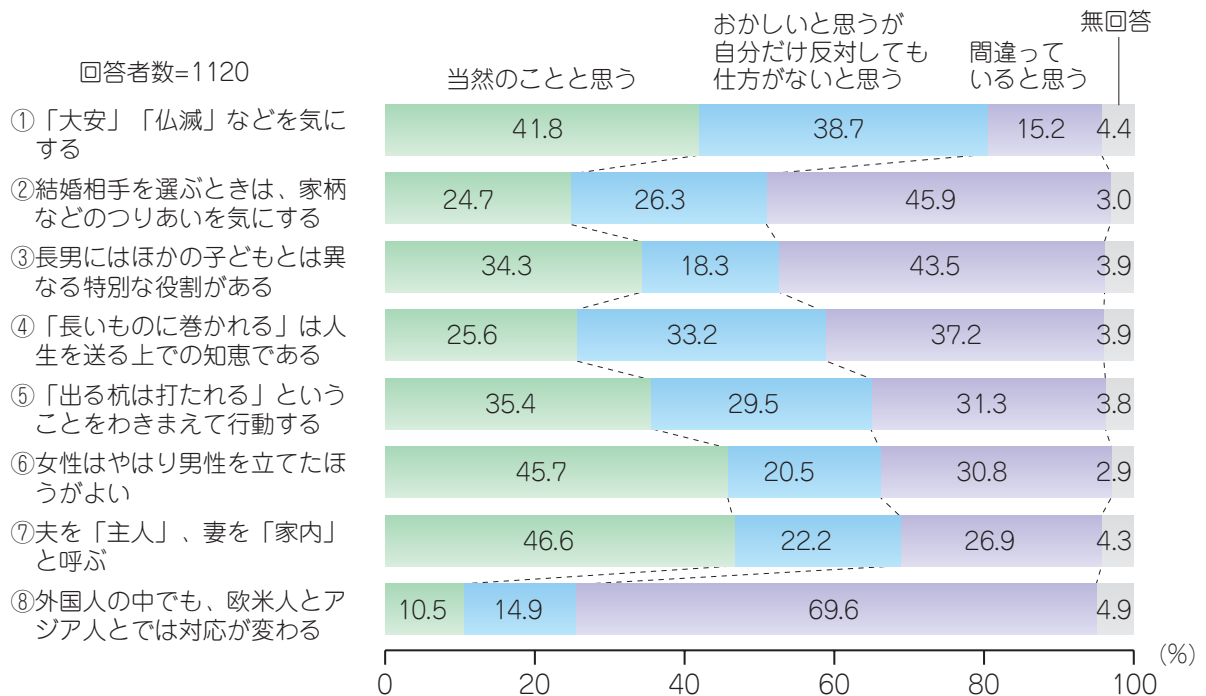
(2) 年齢



回答者の年齢は、「60歳以上」が38.2%で最も多く、次いで「50~59歳」(18.1%)、「30~39歳」(15.7%)の順となっています。

2 ふだんの生活意識について

(1) さまざまな価値観についての考え

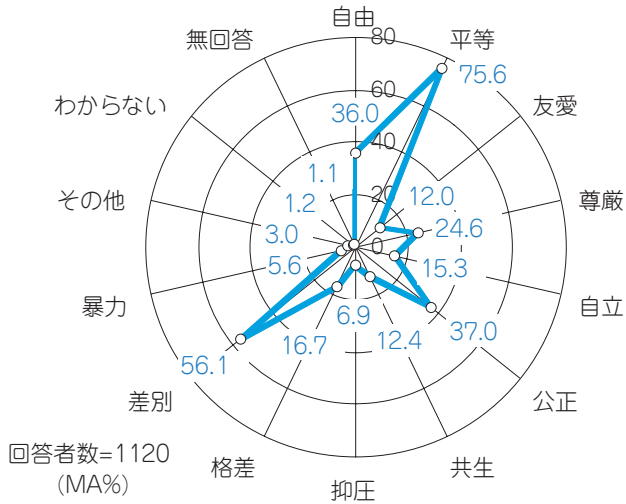


さまざまな価値観についての考えをみると、「当然のことと思う」の割合は〔⑦夫を「主人」、妻を「家内」と呼ぶ〕が46.6%で最も高く、次いで〔⑥女性はやはり男性を立てたほうがよい〕(45.7%)、〔①「大安」「仏滅」などを気にする〕(41.8%)の順となっています。

一方、「間違っていると思う」の割合は〔⑧外国人の中でも、欧米人とアジア人とは対応が変わる〕が69.6%で最も高く、次いで〔②結婚相手を選ぶときは、家柄などのつりあいを気にする〕(45.9%)、〔③長男にはほかの子どもとは異なる特別な役割がある〕(43.5%)の順となっています。

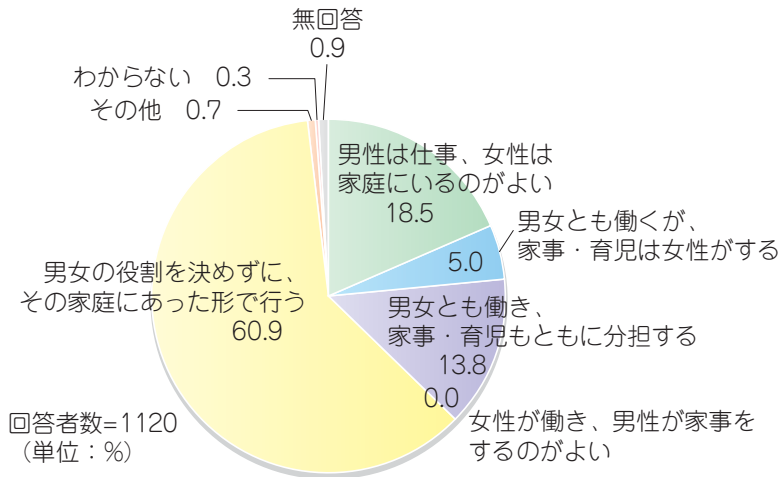
3 人権についての意識や考え方

(1) 「人権」から連想する言葉



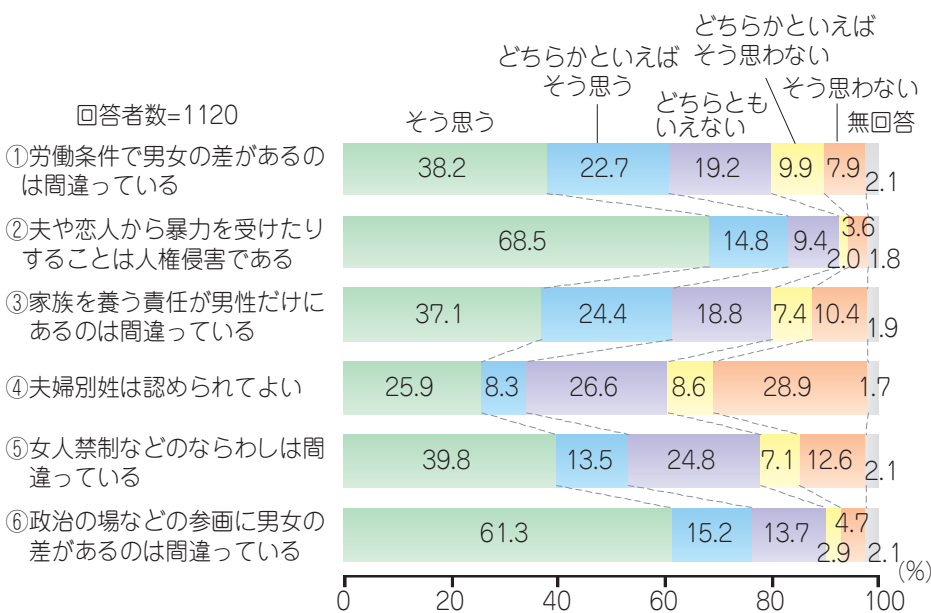
「人権」から連想する言葉は、「平等」が75.6%で最も多く、次いで「差別」(56.1%)、「公正」(37.0%)、「自由」(36.0%)の順となっています。

(2) 男女の役割分担についての考え



仕事と家庭に関する男女の役割分担についての考えをみると、「男女の役割を決めずに、その家庭にあった形で行う」が60.9%と過半数を占め、以下「男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい」(18.5%)、「男女とも働き、家事・育児もともに分担する」(13.8%)の順で続いています。

(3) 男女に関わる事柄についての考え

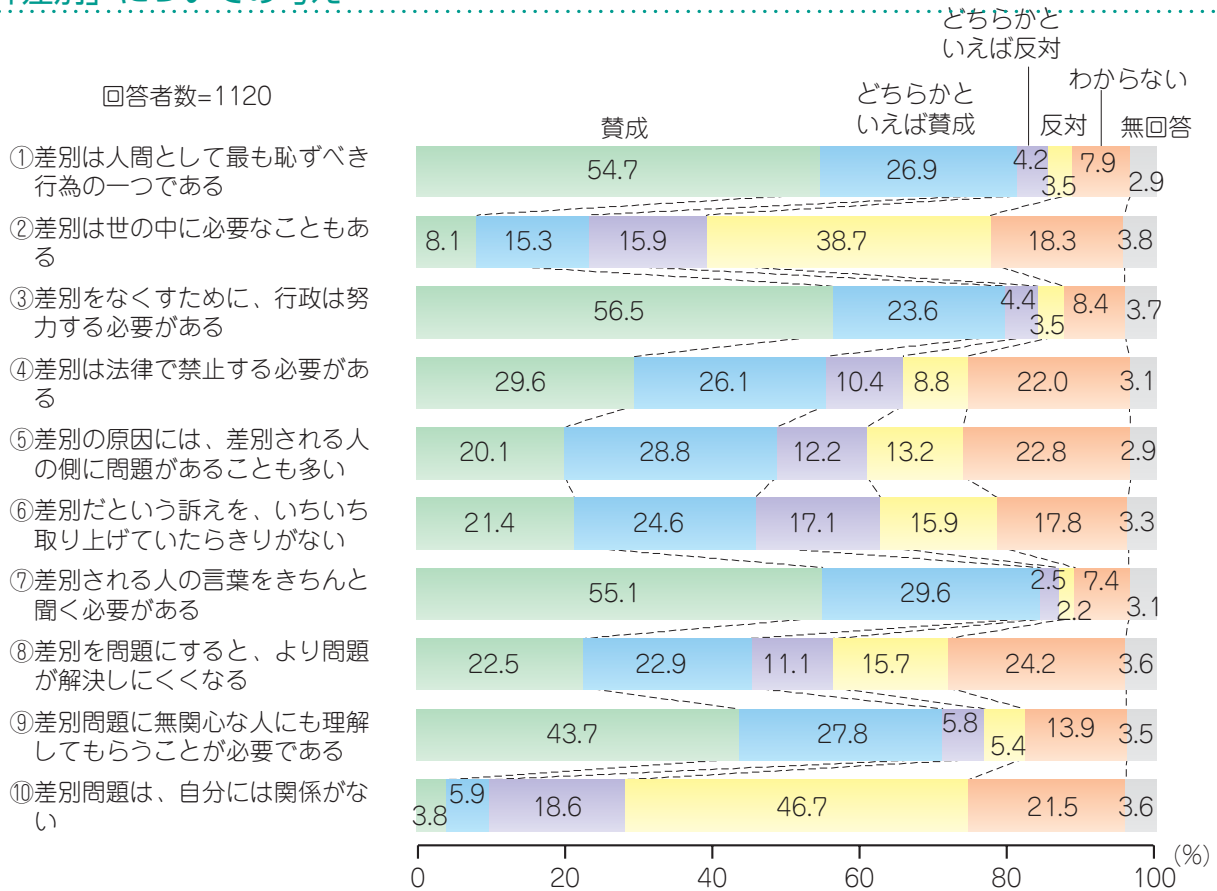


男女に関わる事柄についての考えをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見は〔②夫や恋人から暴力を受けたりすることは人権侵害である〕が83.3%で最も高く、次いで〔⑥政治の場などの参画に男女の差があるのは間違っている〕(76.5%)の順となっています。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせた否定的意見は〔④夫婦別姓は認められてよい〕が37.5%で最も高く、次いで〔⑤女人禁制などのならわしは間違っている〕(19.7%)の順となっています。

4 差別問題や同和問題について

(1) 「差別」についての考え

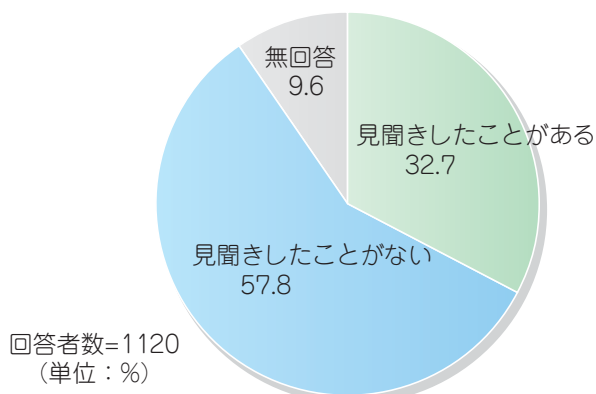


「差別」についての考えをみると、「賛成」と「どちらかといえば賛成」をあわせた『賛成』の割合は〔⑦差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある〕が84.7%で最も高く、次いで〔①差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである〕(81.6%)、〔③差別をなくすために、行政は努力する必要がある〕(80.1%)の順となっています。

一方、「反対」と「どちらかといえば反対」をあわせた『反対』の割合は〔⑩差別問題は、自分には関係がない〕が65.3%で最も高く、次いで〔②差別は世の中に必要なこともある〕(54.6%)、〔⑥差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない〕(33.0%)の順となっています。

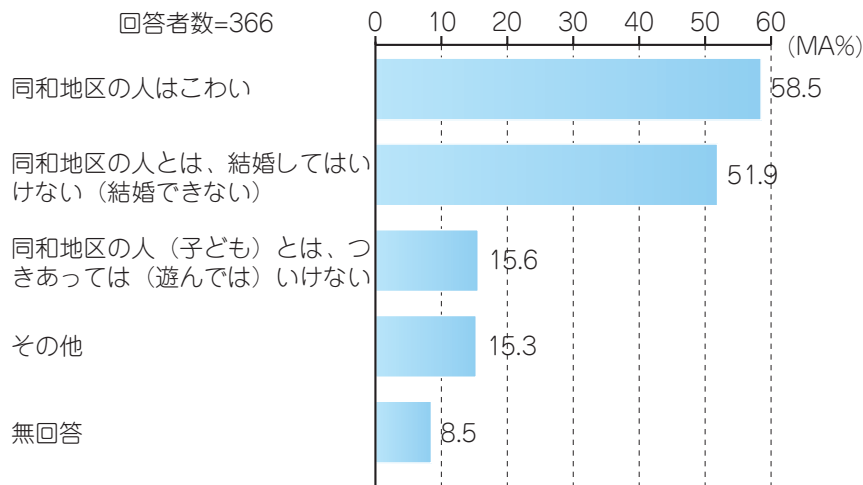
(2) 同和地区に対する差別的な発言や行動の見聞き

① 同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験



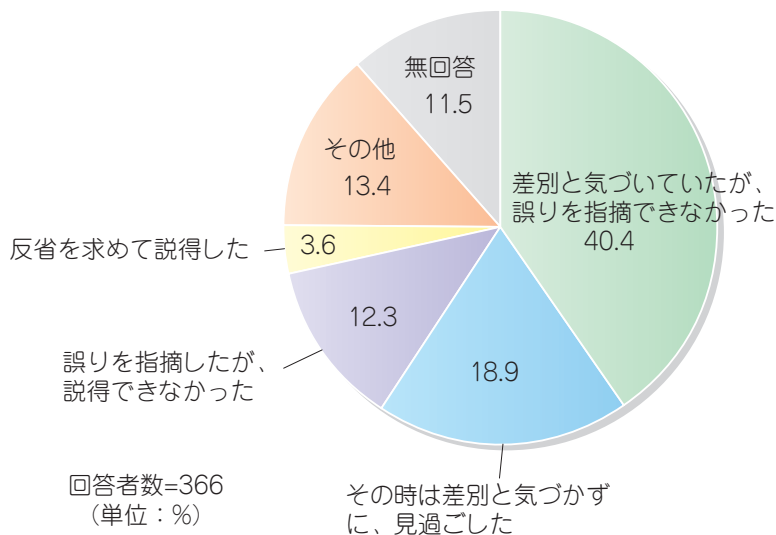
同和地区に対する差別的な発言や行動を見聞きした経験をみると、「見聞きしたことがない」が57.8%と過半数を占め、「見聞きしたことがある」は32.7%となっています。

② 見聞きした差別的な発言や行動の内容



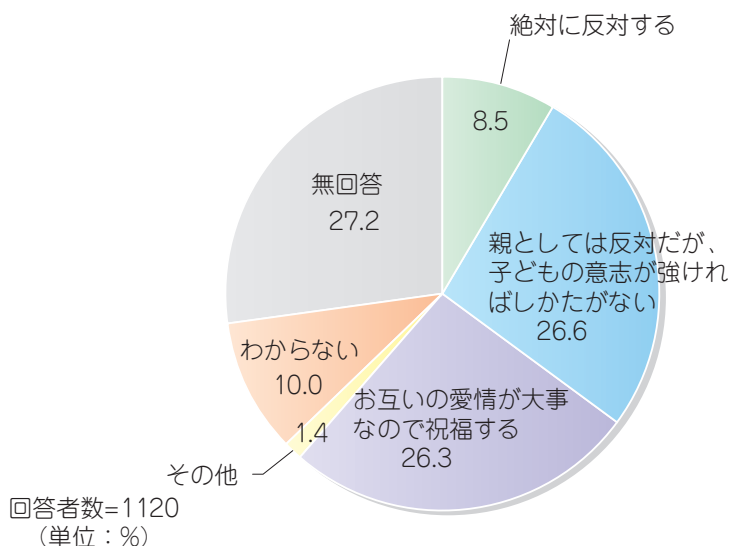
差別的な発言や行動を「見聞きしたことがある」と回答した人に、その内容をたずねたところ、「同和地区の人はこわい」が58.5%で最も多く、次いで「同和地区の人とは、結婚してはいけない (結婚できない)」(51.9%)の順となっています。

③ 差別的な発言や行動を見聞きした時の対応



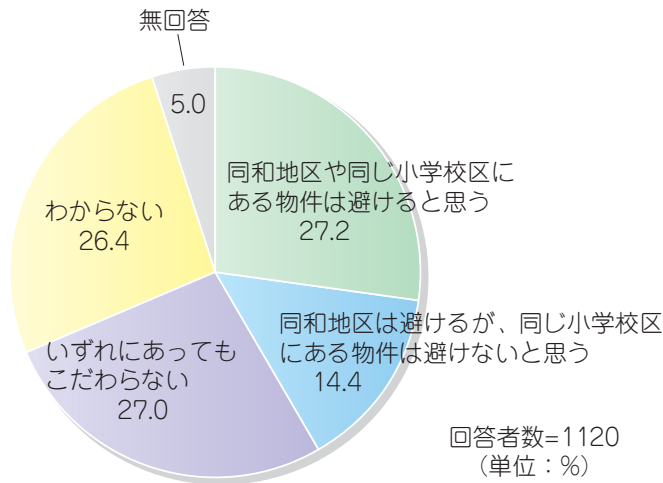
差別的な発言や行動を「見聞きしたことがある」と回答した人に、その時の対応をたずねたところ、「差別と気づいていたが、誤りを指摘できなかった」が40.4%で最も多く、次いで「その時は差別と気づかずに、見過ごした」(18.9%)、「誤りを指摘したが、説得できなかった」(12.3%)の順となっています。

(3) 子どもと同和地区の人との結婚話が進んでいる場合の対応



子どもと同和地区の人との結婚話が進んでいる場合の対応をみると、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければしかたがない」(26.6%)および「お互いの愛情が大事なので祝福する」(26.3%)が多く、「絶対に反対する」は8.5%となっています。

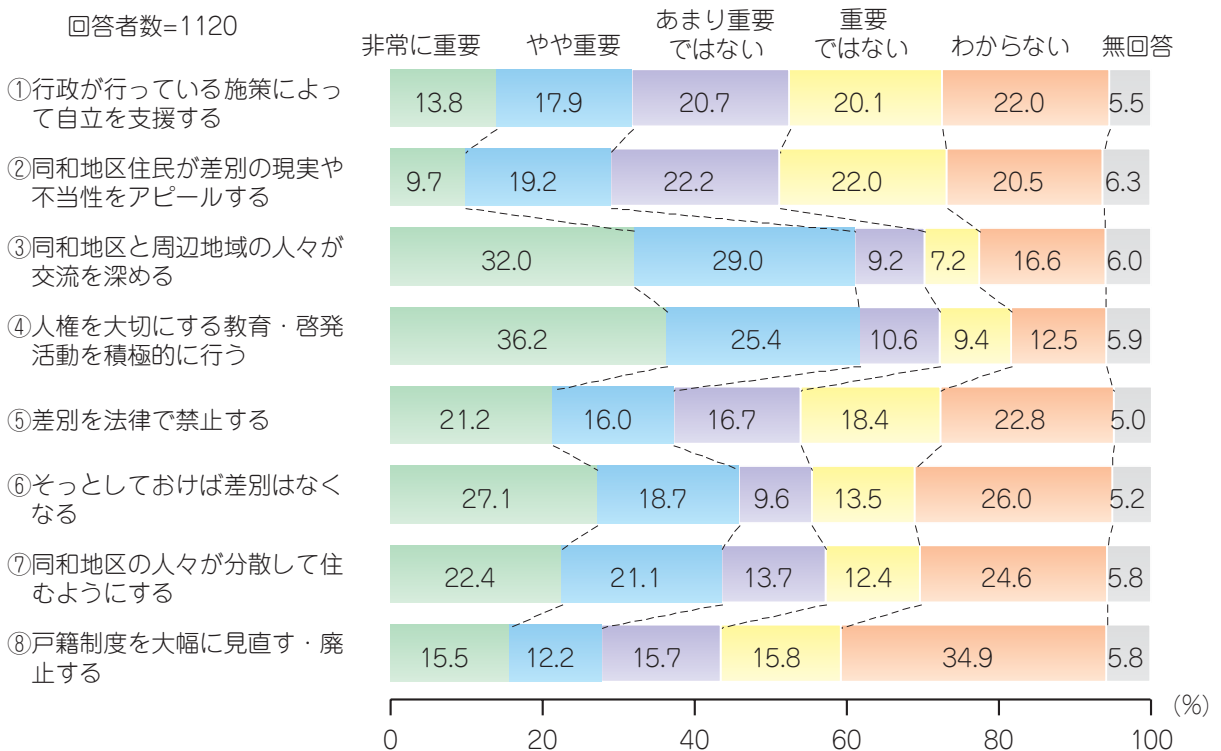
(4) 同和地区や同じ小学校区にある物件の忌避意識



住宅を選ぶ際の同和地区や同じ小学校区にある物件の忌避意識をみると、「同和地区や同じ小学校区にある物件は避けると思う」(27.2%) および「いずれにあってもこだわらない」(27.0%) が多く、「同和地区は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は14.4%となっています。

5 同和問題や差別をなくすための取組みについて

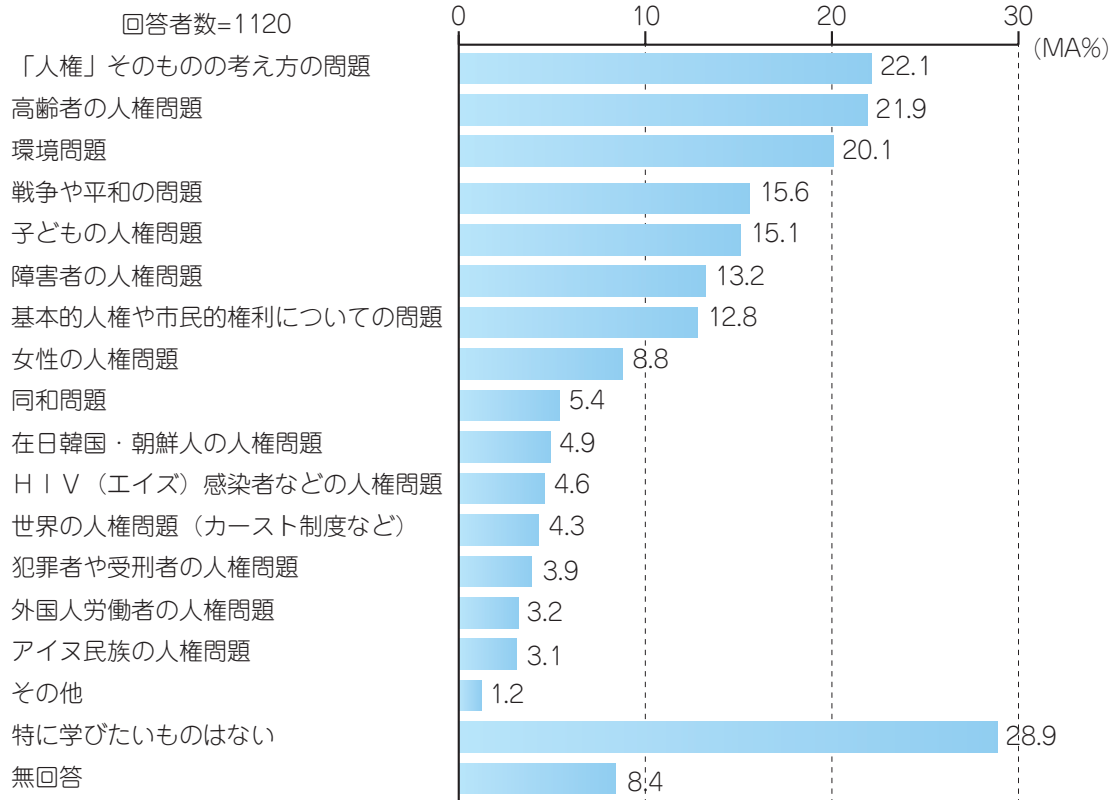
(1) 同和地区出身者に対する差別をなくすための取組みの重要度



同和地区出身者に対する差別をなくすための取組みの重要度をみると、「非常に重要」と「やや重要」をあわせた『重要』の割合は〔④人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う〕が61.6%で最も高く、次いで〔③同和地区と周辺地域の人々が交流を深める〕(61.0%)、〔⑥そっとしておけば差別はなくなる〕(45.8%)の順となっています。

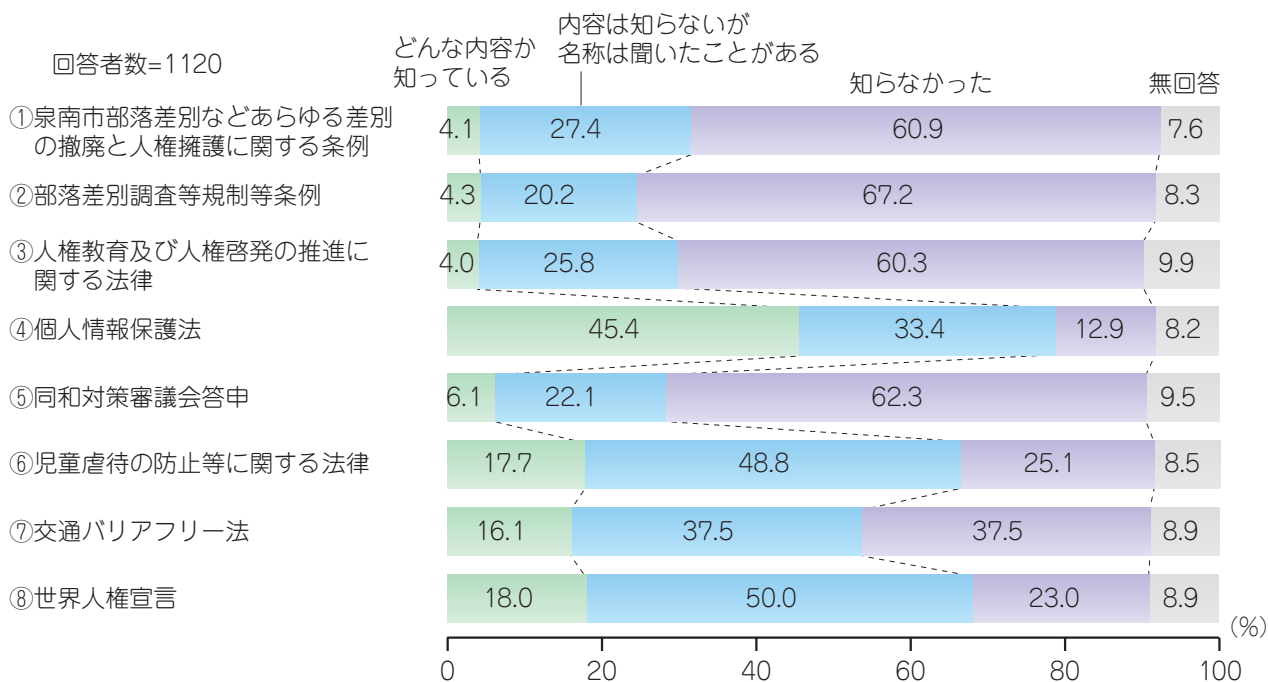
一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」をあわせた『重要ではない』の割合は〔②同和地区住民が差別の現実や不当性をアピールする〕が44.2%で最も高く、次いで〔①行政が行っている施策によって自立を支援する〕(40.8%)、〔⑤差別を法律で禁止する〕(35.1%)の順となっています。

(2) 人権問題の理解を深めるために今後学びたいこと



人権問題の理解を深めるために今後学びたいことについては、「特に学びたいものはない」が28.9%で最も多くなっているが、学びたいことの中では「『人権』そのものの考え方の問題」が22.1%で最も多く、次いで「高齢者の人権問題」（21.9%）、「環境問題」（20.1%）の順となっています。

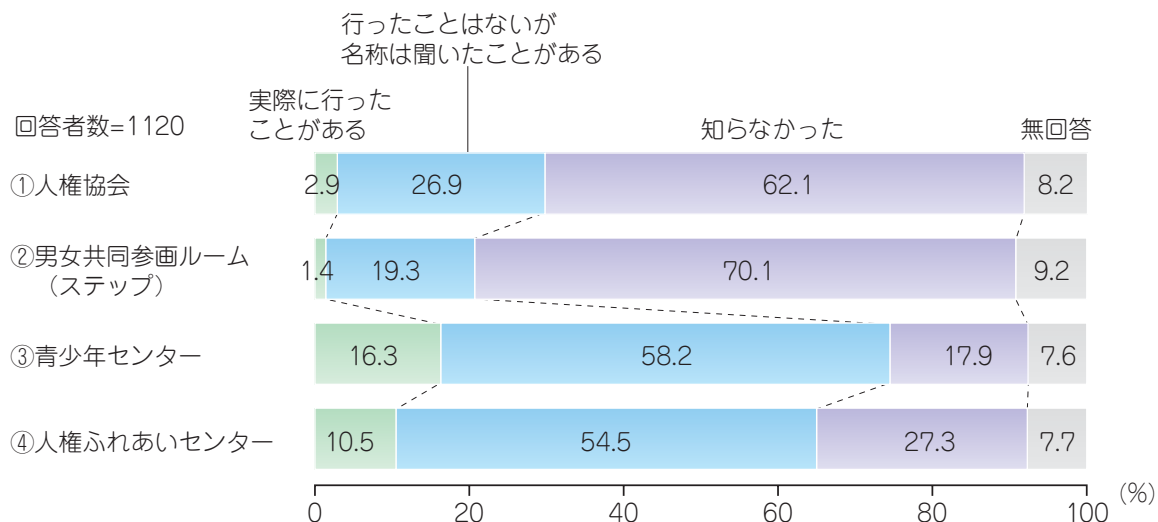
(3) 人権に関する宣言や条例などの認知度



人権に関する宣言や条例などの認知度をみると、「どんな内容か知っている」の割合は〔④個人情報保護法〕が45.4%と目立って高く、以下〔⑧世界人権宣言〕（18.0%）、〔⑥児童虐待の防止等に関する法律〕（17.7%）、〔⑦交通バリアフリー法〕（16.1%）の順で続いています。

一方、「知らなかった」の割合は〔②部落差別調査等規制等条例〕が67.2%で最も高く、次いで〔⑤同和对策審議会答申〕（62.3%）、〔①泉南市部落差別などあらゆる差別の撤廃と人権擁護に関する条例〕（60.9%）、〔③人権教育及び人権啓発の推進に関する法律〕（60.3%）の順となっています。

(4) 人権について推進している施設の認知度



人権について推進している施設の認知度をみると、「実際に行ったことがある」の割合は〔③青少年センター〕が16.3%で最も高く、次いで〔④人権ふれあいセンター〕（10.5%）の順となっており、「行ったことはないが名称は聞いたことがある」をあわせた認知度は〔③青少年センター〕が74.5%、〔④人権ふれあいセンター〕が65.0%となっています。

一方、「知らなかった」の割合は〔②男女共同参画ルーム（ステップ）〕が70.1%で最も高く、次いで〔①人権協会〕（62.1%）の順となっています。

泉南市民人権意識調査報告書

《概要版》

平成19年 3月

発行：泉南市人権推進部人権推進課

〒590-0592 大阪府泉南市樽井一丁目1番1号

TEL 072-483-0001（代表）

FAX 072-482-0075